



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月29日

東

上場会社名 ダイハツインフィニアース株式会社 上場取引所
コード番号 6023 URL <https://www.d-infi.com>
代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 堀田 佳伸
問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 水科 隆志 TEL 06-6454-2331
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	61,182	△4.4	4,566	△21.7	4,859	△20.4	3,701	△14.1
2025年3月期第3四半期	63,978	10.7	5,830	173.9	6,106	169.7	4,306	62.8

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 3,772百万円(△15.1%) 2025年3月期第3四半期 4,442百万円(56.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	145.62	—
2025年3月期第3四半期	135.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	101,847	46,477	45.6
2025年3月期	96,107	44,206	45.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 46,417百万円 2025年3月期 44,153百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	62.00	62.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	62.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	85,000	△4.3	6,300	△17.5	6,400	△15.8	4,700	△17.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期3Q	31,850,000株	2025年3月期	31,850,000株
2026年3月期3Q	6,418,525株	2025年3月期	6,450,625株
2026年3月期3Q	25,418,869株	2025年3月期3Q	31,668,109株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）における我が国経済は、雇用環境や所得水準の改善が進み、国内景気の下支えとなる一方で、物価上昇や為替変動の影響により個人消費の回復は力強さを欠く状況が続いております。

世界経済におきましては、各国の所得環境の改善や金融政策による下支えもあり、総じて緩やかな回復基調を維持しているものの、中国では不動産市況の低迷が長期化し内需の回復が遅れているほか、米中をはじめとする通商政策の動向や、各地域における地政学的リスク等の不確定要因が継続しており、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社の主要な販売先である造船・海運業界におきましては、老朽船舶の代替や環境規制への対応を中心とした新造船の開発および建造が引き続き進みました。その中で、世界的に堅調な海上物流の需要が続き、次世代燃料船を含む新造船需要が継続したことで、国内外の造船所は手持ち工事量を高い水準で確保しております。

このような企業環境下、当社グループの売上につきましては、メンテナンス販売が引き続き堅調に推移しているものの、ばら積み船やタンカーを中心とする中小型機関の売上構成比率の上昇により平均売価が低下した結果、前年同四半期より減収となっております。

機関受注につきましては、コンテナ船向けを中心とする大型機関およびデュアルフューエル機関が大きく増加したことに加え、ばら積み船やタンカー向けを中心とした中小型機関が伸長し、受注残高は前年同四半期を大きく上回る規模で推移しております。

引き続き、将来的な成長を見据え、次世代燃料対応機関の開発および生産体制の構築に向けた設備投資を計画的に進めるとともに、生産効率の向上を図りコスト競争力を強化することで収益性を確保し、持続的な収益基盤の強化へ取り組んでまいります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は61,182百万円（前年同四半期比4.4%減）となり、利益面におきましては、営業利益は4,566百万円（前年同四半期比21.7%減）、経常利益は4,859百万円（前年同四半期比20.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,701百万円（前年同四半期比14.1%減）となりました。

当社および連結グループのセグメント別の業績は次のとおりであります。

<内燃機関部門>

イ) 船用機関関連

メンテナンス関連の売上は増加したものの、売上構成比率において中小型機関が増加したこと等により、売上高は53,073百万円（前年同四半期比4.0%減）、セグメント利益は7,397百万円（前年同四半期比3.1%減）となりました。

ロ) 陸用機関関連

機関売上が減少したことおよび、採算性が悪化したこと等により、売上高は4,677百万円（前年同四半期比16.3%減）、セグメント損失は65百万円（前年同四半期は503百万円のセグメント利益）となりました。

従いまして、当部門の売上高は57,750百万円（前年同四半期比5.1%減）、セグメント利益は7,332百万円（前年同四半期比9.9%減）となりました。

<その他の部門>

イ) 産業機器関連

アルミホイール部門に関しましては、販売数の増加により売上高は増加したものの、セグメント利益は減少となりました。

ロ) 不動産賃貸関連

不動産賃貸関連に関しましては、売上高は微減となり、セグメント利益は増加となりました。

ハ) 売電関連

売電関連に関しましては、売上高は増加となり、セグメント利益は減少となりました。

ニ) 精密部品関連

精密部品関連に関しましては、売上高は増加となり、セグメント利益は減少となりました。

従いまして、当部門の売上高は3,432百万円（前年同四半期比10.4%増）、セグメント利益は286百万円（前年同四半期比23.0%減）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産の部では、現金及び預金が前連結会計年度末に比べ904百万円増加し、棚卸資産は、前連結会計年度末に比べ5,602百万円増加となりました。有形固定資産は、次世代燃料対応機関の製造を目的とした姫路工場の増設工事等に伴い、前連結会計年度末に比べ4,422百万円増加となりました。一方で、受取手形、売掛金及び契約資産は、前連結会計年度末の売上債権の回収が進み6,330百万円減少となりました。その結果、資産の部合計が、前連結会計年度末に比べ5,739百万円増加し、101,847百万円となりました。

負債の部では、支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計が前連結会計年度末に比べ1,694百万円増加となりました。流動負債その他は、主に前受金の増加により4,455百万円増加となりました。一方で、未払費用は954百万円減少し、未払法人税等は887百万円減少し、賞与引当金は637百万円減少しました。その結果、負債の部合計が、前連結会計年度末に比べ3,468百万円増加し、55,369百万円となりました。

純資産の部では、利益剰余金が前連結会計年度末に比べ2,126百万円増加し、51,425百万円となりました。その結果、純資産の部合計が、前連結会計年度末に比べ2,270百万円増加し、46,477百万円となりました。当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末から0.4ポイント低下し、45.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年10月23日に公表いたしました内容から変更はございません。

なお、本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づいた見通しであり、実際の金額は、今後の様々な要因によって変動する場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,521	22,426
受取手形、売掛金及び契約資産	20,976	14,645
棚卸資産	16,907	22,509
その他	4,177	4,911
貸倒引当金	△10	△15
流動資産合計	63,573	64,478
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,834	9,028
機械装置及び運搬具（純額）	5,950	6,030
土地	5,960	6,467
建設仮勘定	3,862	7,401
その他（純額）	1,281	1,383
有形固定資産合計	25,889	30,311
無形固定資産	535	511
投資その他の資産		
投資有価証券	1,472	1,834
繰延税金資産	4,077	4,127
その他	562	586
貸倒引当金	△2	△3
投資その他の資産合計	6,109	6,545
固定資産合計	32,534	37,369
資産合計	96,107	101,847

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,656	6,308
電子記録債務	6,707	7,750
短期借入金	3,743	6,470
リース債務	60	41
未払法人税等	1,357	469
賞与引当金	1,286	649
役員賞与引当金	156	91
未払費用	6,291	5,337
その他	6,462	10,917
流動負債合計	31,722	38,035
固定負債		
長期借入金	10,485	7,199
リース債務	60	55
役員退職慰労引当金	58	51
退職給付に係る負債	6,930	7,357
資産除去債務	269	293
その他	2,374	2,377
固定負債合計	20,179	17,334
負債合計	51,901	55,369
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,434	2,434
資本剰余金	2,236	2,253
利益剰余金	49,298	51,425
自己株式	△11,202	△11,147
株主資本合計	42,766	44,965
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	676	923
繰延ヘッジ損益	61	△90
為替換算調整勘定	223	291
退職給付に係る調整累計額	426	327
その他の包括利益累計額合計	1,386	1,451
非支配株主持分	53	60
純資産合計	44,206	46,477
負債純資産合計	96,107	101,847

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	63,978	61,182
売上原価	48,508	46,607
売上総利益	15,470	14,575
販売費及び一般管理費		
販売費	6,959	6,956
一般管理費	2,680	3,052
販売費及び一般管理費合計	9,639	10,009
営業利益	5,830	4,566
営業外収益		
受取利息	29	31
受取配当金	53	42
為替差益	138	188
業務受託料	18	55
貸倒引当金戻入額	0	1
雑収入	155	109
営業外収益合計	395	429
営業外費用		
支払利息	98	108
雑損失	21	28
営業外費用合計	119	136
経常利益	6,106	4,859
特別利益		
固定資産売却益	0	10
国庫補助金	23	—
特別利益合計	24	10
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産廃棄損	35	44
特別損失合計	35	44
税金等調整前四半期純利益	6,095	4,825
法人税、住民税及び事業税	1,181	1,169
法人税等調整額	605	△52
法人税等合計	1,786	1,116
四半期純利益	4,308	3,708
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,306	3,701

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	4,308	3,708
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60	247
繰延ヘッジ損益	4	△151
為替換算調整勘定	56	68
退職給付に係る調整額	12	△99
その他の包括利益合計	133	64
四半期包括利益	4,442	3,772
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,440	3,765
非支配株主に係る四半期包括利益	2	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,185百万円	2,239百万円

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注)①	合計	調整額 (注)②	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)③
	船用機関 関連	陸用機関 関連	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	55,280	5,589	60,870	3,108	63,978	—	63,978
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	55,280	5,589	60,870	3,108	63,978	—	63,978
セグメント利益	7,634	503	8,138	372	8,510	△2,680	5,830

(注)①「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器関連事業、不動産賃貸関連事業、売電関連事業及び精密部品関連事業を含んでおります。

②セグメント利益の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

③セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注)①	合計	調整額 (注)②	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)③
	船用機関 関連	陸用機関 関連	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	53,073	4,677	57,750	3,432	61,182	—	61,182
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	53,073	4,677	57,750	3,432	61,182	—	61,182
セグメント利益 又は損失(△)	7,397	△65	7,332	286	7,619	△3,052	4,566

(注)①「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器関連事業、不動産賃貸関連事業、売電関連事業及び精密部品関連事業を含んでおります。

②セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

③セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	数 量	金 額	前年同四半期増減率
			%
内燃機関部門	馬力		
船用機関関連	783,706	53,073	△4.0
陸用機関関連	15,866	4,677	△16.3
その他の部門	—	2,960	12.2
合 計		60,710	△4.4

(注) ①金額は、販売価格によっております。

②上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高			受注残高		
	数 量	金 額	前年同四半期増減率	数 量	金 額	前年同四半期増減率
内燃機関部門	馬力		%	馬力		%
船用機関関連	1,350,270	82,992 (57,322)	34.8	2,372,531	96,524 (60,457)	54.4
陸用機関関連	64,020	9,972 (670)	12.4	115,578	12,454 (867)	20.1
その他の部門	—	3,320 (—)	10.2	—	1,660 (—)	17.3
合 計		96,286 (57,992)	31.1		110,640 (61,325)	48.9

(注) ①金額は、販売価格によっております。

② () 内は輸出受注高、輸出受注残高を示し、内数であります。

③上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	数量	金額	輸出比率	前年同四半期増減率
内燃機関部門	馬力		%	%
船用機関関連	783,706	53,073 (34,202)	64.4	△4.0
陸用機関関連	15,866	4,677 (171)	3.7	△16.3
その他の部門	—	3,432 (—)	—	10.4
合 計		61,182 (34,374)	56.2	△4.4

(注) ① () 内は輸出高を示し、内数であります。

②主要な輸出地域および割合は次のとおりであります。

アジア (70.9%)、欧州 (19.0%)、中南米 (5.8%)、北米 (3.4%)、その他 (0.9%)

③「その他の部門」には精密部品関連 (2,062百万円)、産業機器関連 (897百万円) および不動産賃貸関連等 (472百万円) を含んでおります。

④上記の金額には、消費税等は含まれておりません。